

# 注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察注意報第3号

## たまねぎ ベと病

1. 発生地域（対象地域） 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠
  - (1) 4月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発病株率は1.8%（平年0.2%）、発生圃場率は41.7%（平年9.3%）で、一部多発地域が見られた。
  - (2) 3月下旬から4月上旬にかけて断続的に降雨があり、発病に適した天候が続いている。
  - (3) 福岡管区気象台発表の4月14日付けの気象予報によると向こう1か月の降水量は平年並の見込みであるが、今後の降雨により多発する恐れがある。



図1 ベと病



図2 ベと病菌分生子柄と分生子

4. 防除法等
  - (1) 発生初期の防除を徹底する。発生程度に応じて7～10日おきに（激発時4～5日おき）数回散布する（薬剤は県病害虫防除基準参照）。
  - (2) 耐性菌が出現する恐れがあるので同一系統薬剤の連続使用を避ける。
  - (3) 被害茎葉残渣は次作の発生源となるので圃場から持ち出し処分する。
  - (4) 収穫時期が近づいているので、薬剤散布に際しては農薬の使用基準を遵守する。